

## 事例8 学級活動（3）一人一人のキャリア形成と自己実現

### 「ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用」の事例

- |          |  |
|----------|--|
| ○学年      | 第4学年   |
| ○主な内容    | 学校図書館の効果的な活用や日常の読書指導との関連に関する指導   |
| ○事例のポイント | ①学びを深める場として、学校図書館を活用した授業展開となるよう工夫する。<br>②国語科の本の分類についての学習を生かして意思決定できるよう授業を展開する。<br>③実践の振り返りと共に、目標の修正や互いの努力を認め合う時間を設定する。 |

#### ICTを活用した主な学習場面

- ・アンケート結果を提示する場面
- ・児童の考えを共有する場面
- ・実践後の振り返りの場面

#### ICT活用の利点

- ①視覚に訴える情報を提示することで、児童の題材や実践への関心を高めることができる。
- ②児童の思いや考えが同時に共有できる。
- ③一人一人の活動状況や進捗状況を教師、児童同士がいつでも閲覧、確認できる。

### 1 題材 「本で広がるわたしの世界」

#### 2 児童の実態と題材設定の理由

本学級の児童は進んで本を手に取り、読書を楽しんでいる様子が見られる。本校で週一回、朝読書（本に親しむ時間）を設定していることや、全学級で読書記録の推進に取り組んでいることもあり、どの児童にも一定の読書量は確保されている。一方で、興味のある本ばかりを読む児童が多く、特定の分野以外の本に手を伸ばそうとする姿があまり見られない。

本題材は活動内容（3）「ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用」に関わる題材であり、本校の年間指導計画に第4学年に位置付けられている題材である。様々な情報が得られ、自主的な学習を深める場としての学校図書館の効果的な活用や、日常の読書活動の充実にもつながるものである。また、小学校学習指導要領（平成29年告示）第1節国語第3学年及び第4学年の内容において、「幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと」との記載がある。

指導にあたっては、上記の国語科の内容との有機的な関連を図ったり、実際に学校図書館の仕組みの理解や利用の仕方に関する実践的な活動を行ったりするなど教科横断的な学習を展開する。本校で毎年10月に設定している読書月間に向けた様々な活動に合わせて本題材の授業を位置付け、互いの読んでいる本、興味のある本について伝え合うこと、分類ごとの本のよさや魅力、必要な情報が得られる有用性等に触れることで、多様な本を読むことへの意欲を高め、これまでとは違った本に出会う機会としたい。

#### 3 第3学年及び第4学年の評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことの意義を理解し、将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについて、よりよく生活するための課題に気付き、解決方法などについて話し合い、自分に合った解決方法を意思決定して実践している。	現在および将来にわたってよりよく生きるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを生かし、他者と協働して、自己実現に向けて意欲的に行動しようとしている。

#### 4 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)																								
<p>・アンケートと共に、自身の読書記録を参考に、自分がよく読む本の種類を見直してみる活動を通して、自分が読む本の傾向をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1. 読書は好きですか。*</p> <p>1. 好き</p> <p>2. どちらかといえば好き</p> <p>3. どちらかといえばきらい</p> <p>4. きらい</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1 類の本 (例)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>題名</th> <th>出版社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かいじゅうたちはこうやってピンチをのりきった</td> <td>パイ インターナショナル</td> </tr> <tr> <td>すみっこぐらし心理テスト 学校編</td> <td>学研プラス</td> </tr> <tr> <td>こころのふしぎなぜ? どうして?</td> <td>高橋書店</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1 類の本にはどのような本があるか、児童に分かるように、事前に学校司書と相談して用意しておく。</p> </div>	題名	出版社	かいじゅうたちはこうやってピンチをのりきった	パイ インターナショナル	すみっこぐらし心理テスト 学校編	学研プラス	こころのふしぎなぜ? どうして?	高橋書店	<p>・読んでいる本の種類が複数あることや、あまり読んでいない種類の本があることに気付けるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>あなたがよく読むのは、どの種類の本ですか。※いくつか選んでもよいです。</p> <p><input type="checkbox"/> 0 雑記(そうき)…図書館・百科事典・新聞など</p> <p><input type="checkbox"/> 1 哲学(てつがく)…心理学、宗教(しゅうきょう)など</p> <p><input type="checkbox"/> 2 歴史(れきし)…日本や外国のれきし、地理など</p> <p><input type="checkbox"/> 3 社会科学…政治(せいじ)、法律(ほうりつ)、経済(けいざい)、教育など</p> <p><input type="checkbox"/> 4 自然科学…数学、天文学、地学、生物学、植物学、動物学、医学など</p> <p><input type="checkbox"/> 5 技術…土木、建築(けんちく)、機械(きかい)、電気、海洋、金属(きんぞく)、製造(せいぞう)など</p> <p><input type="checkbox"/> 6 産業…農業(のうぎょう)、園芸、林業、水産(すいさん)業、商業、運輸(うんゆ)、通信</p> <p><input type="checkbox"/> 7 美術…美術、彫刻(ちょうこく)、絵画、版画、写真、工芸(こうげい)、音楽、演劇(えんげき)、スポーツ、娯楽(ごらく)...</p> <p><input type="checkbox"/> 8 言語…日本語、中国語、英語、ドイツ語、フランス語など、いろいろな国の言葉</p> <p><input type="checkbox"/> 9 文学…日本や外国などのお話、物語</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>7 類の本 (例)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>題名</th> <th>出版社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不可能を可能にする大谷翔平120の思考</td> <td>びあ株式会社</td> </tr> <tr> <td>マンガでたのしくわかる!少年サッカー</td> <td>西東社</td> </tr> <tr> <td>超ウケキッズマジック</td> <td>いかだ社</td> </tr> <tr> <td>大人気だ!休み時間・自由時間の巻</td> <td></td> </tr> <tr> <td>楽しいバスレクアイデアガイド①</td> <td>汐文社</td> </tr> <tr> <td>なぞなぞ大問題ベスト1000</td> <td>小峰書店</td> </tr> <tr> <td>おりがみできたよ!</td> <td>つちや書店</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>・アンケートソフトである Google forms を使って児童が回答する際に、分類ごとの本のイメージがもてるよう、回答欄に写真を添える工夫も考えられる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>各分類の中には、多様な種類の本があることに気付けるよう、幅広いジャンルの本を選んで写真を撮る。 (例) 7 類 スポーツ、レク、折り紙</p> </div>	題名	出版社	不可能を可能にする大谷翔平120の思考	びあ株式会社	マンガでたのしくわかる!少年サッカー	西東社	超ウケキッズマジック	いかだ社	大人気だ!休み時間・自由時間の巻		楽しいバスレクアイデアガイド①	汐文社	なぞなぞ大問題ベスト1000	小峰書店	おりがみできたよ!	つちや書店	<p>◎これまでの読書活動を振り返り、自身の図書館活用の在り方について考えようとしている。【態】(アンケート)</p>
題名	出版社																									
かいじゅうたちはこうやってピンチをのりきった	パイ インターナショナル																									
すみっこぐらし心理テスト 学校編	学研プラス																									
こころのふしぎなぜ? どうして?	高橋書店																									
題名	出版社																									
不可能を可能にする大谷翔平120の思考	びあ株式会社																									
マンガでたのしくわかる!少年サッカー	西東社																									
超ウケキッズマジック	いかだ社																									
大人気だ!休み時間・自由時間の巻																										
楽しいバスレクアイデアガイド①	汐文社																									
なぞなぞ大問題ベスト1000	小峰書店																									
おりがみできたよ!	つちや書店																									

#### 5 本時のねらい

いろいろな種類の本の魅力に触れ、多様な読書経験を豊かにしようとする態度を育てる。

#### 6 展開

段階	児童の活動	指導上の留意点		資料	◎目指す児童の姿 【観点】 (評価方法)
		T 1 : 担任	T 2 : 学校司書		
導入 10分	1 ICTを活用したアンケート結果をもとに、読書への関心や読んでいる本の種類についての	・授業を学校図書館で行うことで、すぐに本が手に取れるようにする。 ・分類ごとの本	事例のポイント① 学校図書館で授業を行う。	・アンケート結果	ICT活用の利点①

つかむ

クラスの状況を知る。

2 今、読んでいる本を近くの人と紹介し合う。

編 P201  
指導計画作成の留意事項 (4)

3 学校司書のブックトークを聞く。

事例のポイント②  
国語科の本の分類についての学習をもとに確認する。

編 P201  
指導計画作成の留意事項 (3)

の数に加え、児童が知っている本の名前を挙げることでイメージがもてるようにする。

・本の紹介の仕方や伝え合う内容について説明する。

- ・本の題名
- ・借りた理由
- ・好きなどころ

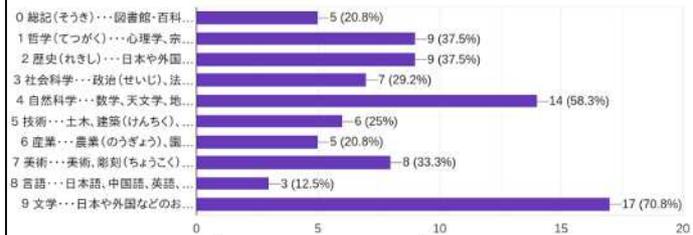
・本の概要に加えて、読もうと思ったきっかけや目的についても触れるように声をかける。

・児童のつぶやきなどから、めあてにつながる児童の気付きを把握する。

・ブックトークで紹介された本の場所を示し、児童が読書への関心をさらに高められるようにする。

あなたがよく読むのは、どの種類の本ですか。※いくつか選んでもよいです。

24件の回答



・取り組むことが難しい児童に、T1と共に説明の支援をしたり、言葉を補ったりする。

・事前のアンケートから、あまり読まれていない種類の本を把握しておき、児童に紹介する。

・児童が借りている本

・紹介の仕方(話型)

・紹介する本

編 P201  
指導計画作成の留意事項 (1)

・児童に紹介する本

・紹介する本に関わる実物

◎各分類の中でも多様な本があることを理解している。  
【知・技】(観察・発言)

学校司書がブックトークをしている様子



みなさん、普段ホウキはどんなことに使っていますか。この本では、ホウキが掃除以外に、どのようなことに使われているか紹介しています。また、ホウキがどのように作られているかも分かりますよ。

<p>展開</p> <p>25分</p> <p>さぐる</p> <p>見つける</p> <p>終末</p> <p>10分</p>	<p>4 本時のめあてを知る。</p> <p>5 本に触れたり、活用したりする方法について話し合う。</p> <p>6 分類ごとの本のよさや利用する目的についてグループで話し合い、共同編集ソフト Google スライドにまとめる。</p> <p>7 個人目標を意思決定する。</p>	<p>いろいろな本のよさを知り、読んだことのない本を手にとろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあてと学習の流れを伝え、児童が見通しをもてるようにする。</li> <li>必要に応じて、本を手にする具体的な場面を提示したり、図書室の中で注目する場所を示したりして、児童の思考を助ける。</li> <li>各グループを回り、分類ごとの本のよさを把握する。事前にポイントをまとめておき、児童から意見が出ないときは、教師から提示する。</li> <li>児童が話している本のよさを必要に応じて補ったり、言い換えたりして端的にまとめられるよう支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新刊コーナーや「先生のおすすめの本」図書委員作成の本の紹介ポスターなどの側に行き、児童の気付きを支援する。</li> <li>各グループを回り、児童の気付きを促す助言をしたり、共有すべき意見をT1に伝えたりする。</li> </ul>	<p>先生おすすめの 本コーナー</p>   <p>あっちに5類の本棚があったよ。SDGsのことを分かりやすく紹介している本があって、楽しく学べそうだよ。</p> <table border="1" data-bbox="957 1433 1436 1713"> <thead> <tr> <th colspan="2">1類の本</th> <th rowspan="4">自分や友だちのことがわかる</th> </tr> <tr> <th>題名</th> <th>出版社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かいじゅうたちはこうやってピンチをのりきった</td> <td>バイ インターナショナル</td> </tr> <tr> <td>すみっこぐらし心理テスト 学校編</td> <td>学研プラス</td> </tr> <tr> <td>こころのふしぎ なぜ?どうして?</td> <td>高橋書店</td> </tr> </tbody> </table> <p>元気になる</p> <p>色んな考え方が分かる</p> <p>ICT活用の利点②</p> <p>実際のスライドでは、1類の本の写真を掲載した。</p> <p>・学習カード</p> <p>◎友達の意見や教師から提示されたことをもとに、幅広く読書することについて考え、どのような本を読もうか具体的な目標を考えている。</p> <p>【思・判・表】</p>	1類の本		自分や友だちのことがわかる	題名	出版社	かいじゅうたちはこうやってピンチをのりきった	バイ インターナショナル	すみっこぐらし心理テスト 学校編	学研プラス	こころのふしぎ なぜ?どうして?	高橋書店
1類の本		自分や友だちのことがわかる													
題名	出版社														
かいじゅうたちはこうやってピンチをのりきった	バイ インターナショナル														
すみっこぐらし心理テスト 学校編	学研プラス														
こころのふしぎ なぜ?どうして?	高橋書店														
<p>編 P201 指導計画作成の 留意事項(2)</p>	<p>事例のポイント ③ 実際に本が置かれている場所を回ったり、互いの読書経験について交流したりする。</p>	<p>ICT活用の利点②</p>	<p>実際のスライドでは、1類の本の写真を掲載した。</p>												

<p>決める</p>	<p>8 決めた個人目標を隣同士で伝え合う。</p> <p>9 教師の話を聞く。</p>	<p>決定となるよう助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達の宣言に対し、励ましや称賛の言葉を伝え、互いに励まし合って実践していけるよう助言する。</li> <li>・ 数名を指名して全体で発表する時間を取り、実践への期待感を伝えたり、努力しようとする姿勢の価値付けをしたりする。</li> </ul>	<p>れるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ T1と同様に児童へ助言し、なるべく多くの児童が友達に前向きな言葉で伝えるように支援する。</li> <li>・ 児童と一緒に拍手を送ったり、笑顔で見守ったりして、温かい雰囲気の中で終われるようにする。</li> </ul>	<p>(ワークシート・観察)</p>  <p>「8類の本を50ページ以上読んでみる」って目標は、色々な本を少しずつ読んだり、1冊の本を長く読んだりできそうでいいね。僕は5種類以上の本を読むことに挑戦しようと思うよ。お互い頑張ろう。</p>
<p>板書の例</p>				

本で広がるわたしの世界 **めあて** いろいろな本のよさを知り、読んだことのない本を手にとろう

**つかむ** **さぐる** 新しい本に出会うためにできることは何だろう。 **見つける** どんな本（のよさ）に出会えるだろう。

**読書は好きですか。**

**あなたがよく読むのはどの種類の本ですか。**

**決める** これからチャレンジすることを決めよう。

◇出会い方 見る、聞く、調べる

◇本の種類 ○類、・・・な本

◇どのくらい ○分、回、ページ、

(見る) ・本の紹介カード  
・先生のおすすめ  
・本の表示  
・表紙の絵

(聞く) ・友だち  
・家族  
・先生  
・図書委員  
・図書室の先生

(調べる) ・けんさく  
・図書たんけん

アンケート結果を大型モニターに映して提示する場合、画面が切り替わっても児童が見られるように、印刷したものも用意しておき、掲示した。

教師が押さえていたい内容については事前に例を考えておいたり、短冊に書いたりするなどして用意しておくことで、児童から意見が出ない場合に教師から提示することができるようにした。

本を読む速さや読書の習慣、興味のある本の種類など、多様な児童の実態に応じて、自分に合った目標が設定できるよう、読書の量や機会について選択肢を提示するようにした。

7 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で決めた目標に4週間取り組む。</li> <li>帰りの会や読書の時間で定期的に振り返ったり、目標を修正したりする。</li> </ul> <div data-bbox="244 488 523 548" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">ICT活用の利点③</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りの時間に、児童同士で実践の様子を伝え合ったり、励まし合ったりする場を設けることで、意欲を継続して実践できるようにする。</li> <li>共同編集ソフト Google スプレッドシートを活用し、読んでいる本や感想を児童同士が共有することで、刺激を受けたり、参考にしたりする機会となるようにする。</li> </ul>	<p>◎幅広く読書をするすることで、本のよさや楽しさがより多く感じられることを理解し、実践しようとしている。</p> <p>【態】 (観察、ワークシート)</p> <div data-bbox="1061 533 1406 728" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>事例のポイント③ 互いの実践を認め合うことで、目標の達成だけでなく、努力することのよさも実感できるようにする。</p> </div>
	<div data-bbox="1042 891 1406 1093" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>共同編集機能を使うため、自分が入力した本の題名や感想を他の人が編集できないように保護する方法を事前に指導しておく。</p> </div>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>取組期間中に読んだ本や、友達の読書記録で気になった本を紹介し合う。</li> </ul>	<div data-bbox="603 1552 943 1821" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>私が読んでよかったのはこの本です。これは1類の本で、自分の心について深く考えられるし、元気が出るんですよ。</p> </div>	<div data-bbox="1042 1205 1406 1485" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>5類には、お菓子とか、折り紙の作り方が分かる本もあるみたいで、今度この本を借りて作ってみようと思いました。</p> </div>
<ul style="list-style-type: none"> <li>自身の取組について振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の内容について家庭にも知らせ、児童を励ましたり、取組の様子を称賛したりするなどの協力を依頼することも考えられる。</li> </ul>	<div data-bbox="1042 1541 1406 1928" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>振り返りや伝え合いをする場について、教師が予定を伝えておくことで、児童も見通しをもって取り組むことができる。例えば、事前に紹介し合う内容や、期日を予告しておくことで児童が余裕をもって準備できる。また、朝の会、帰りの会や給食後の時間等の短い時間でも伝え合いができるようになる。</p> </div>

学級活動(3) 「読書で広がるわたしの世界」

4年 1組 名前 \_\_\_\_\_

**つかむ** みんな、どんな本を読んでいるのだろう。

**さぐる** 新しい本に出会うためにできることは何だろう。

- ・図書先生の聞く
- ・友達や先生、家の人に教えてもらう
- ・図書室のポスターや「おすすめの本」コーナーを見る。

問題解決の方法については、まず個人で自分なりに考える時間を取ってから話し合えるようにした。

1週ごとに振り返りをする際、取組や達成の状況を踏まえ、目標を見直して修正したり、新たな目標を設定したりすることが考えられる。目標の修正や設定には、教師が積極的に関わり、支援、助言できるとよい。

**見つける** 色々な本のよさを見つけよう。(本の内容や使い方)

すてきな言葉に出会って元気が出る。  
作り方や遊び方が分かって、役に立つ話の続きが気になってわくわくする。

**決める** チャレンジすること(これからの本との関わり方)を書きましょう。

- ・全種類の本を手にとって、全部で200ページは読んでみる。(10月21日～) 7類の本を2こずつ読む。
- (10月28日) 8類の本を読んで新しい言葉を20個知る。

※いつ、どれくらい、どのように という視点で具体的に(数字を入れるとよい)。

☆振り返り(わくの中一言振り返りを書きましょう。)

<p>1週目 10/11(金)</p> <p>0～4類頁の本を言読んでみました。2類頁の本は、昔の林葉子や世界のことか分かって楽しく言読めました。来週は残りの5～9類頁の本を見ようと思います。</p>	<p>2週目 10/18(金)</p> <p>5～9類頁の本を言読めました。全部で200ページ言読めたので来週からは特に気になった7類頁の本をじっくり言読してみたいです。</p>
<p>3週目 10/25(金)</p> <p>7類頁のスポーツの本を言読んで、有名な選手がけがを乗り越えた話に感動しました。マジックバス7の本もこれから役に立つぞうだなと思いました。来週は8類頁の本を言読んで</p>	<p>4週目 11/1(金)</p> <p>8類頁の本を言読んで、今まで知らなかった、面白いことわざや四字熟語などがたくさん思いつきました。他にまだ知らない言葉がまだまだありそうなので、これからも8類頁の本を言読んで</p>

①  
み  
たい  
し  
思  
い  
ま  
す。

☆取り組んでみて(読書月間を終えて)

色々な種類の本を言読んでみて、今までより言読んてみたい本の種類がたくさんふえました。読書も前よりも、もっと楽しくなりました。  
次にどんな本に出会えるか、楽しみです。

も、と知り  
たいと  
思いま  
した

目標の達成状況などの結果だけでなく、努力できたことや活動の過程で気付いたこと、感じたことなどを書くように促すとよい。また、学習カードを教室に掲示して互いに見られるようにしたり、教師が紹介したりすること、家族に見てもらい、励ましの言葉をもらうことなどの工夫も考えられる。これらのことを通して、次への実践意欲や児童の自己効力感の高まりにつながることを期待できる。

## 9 指導上の留意点

- 学校図書館の以下のような機能を踏まえた学習活動になるよう留意した。
  - ・児童の読書活動や児童への読書指導の場である「読書センター」
  - ・児童の学習活動の支援や、授業の内容を豊かにしてその理解を深める「学習センター」
  - ・児童や教職員の情報ニーズに対応したり児童の情報の収集・選択・活用能力を育成したりする「情報センター」
- 多様な児童の実態を考慮し、視界に入る情報が少ない教室で行うことも考えられる。
- ティームティーチングを取り入れる授業を展開するにあたっては、事前にT2となる学校司書と十分な打合せを行った。打合せの内容としては、読む本の傾向などの児童の実態についての共通理解、各学習活動における互いの役割分担、板書計画やワークシートについてである。
- 「今まで読むことの少なかった種類の本を読むようになった」や「新しい種類の本と出会う楽しさを知った」等の児童の姿が見られた時、決めた目標の達成に向けて努力する姿勢や、児童のよさを価値付けると共に、実践への意欲を継続できるようにする。
- 3観点全てを1時間の中で評価することは困難であることから、学習過程の中で重点化して見取るようにすることが大切である。本実践における話合いの時間では、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」に重点を置いて評価をしている。事前から事後の一連の活動の中で全ての観点を評価するようにしている。